

平成30年11月28日
法務省人権擁護局

第38回全国中学生人権作文コンテスト中央大会の表彰等について

<u>主 催</u>	法務省，全国人権擁護委員連合会
<u>後 援</u>	文部科学省，一般社団法人日本新聞協会，NHK，公益財団法人日本サッカー協会，国連広報センター
<u>協賛・協力</u>	公益財団法人人権教育啓発推進センター，公益財団法人人権擁護協力会，公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会
<u>応募者数</u>	今回の大会には，7,342校の学校から，933,992名の応募があった。 ※資料1参照
<u>応募作品</u>	「子どもに関する問題」に関する作文が応募総数全体の36.3%（338,865編），中でも「いじめ」に関する作文が26.2%（244,927編）と最も多くなっている。 次いで，「戦争・平和」に関する作文が10.4%（97,360編），「障害のある人に関する問題」に関する作文が10.2%（94,982編），「差別問題一般」に関する作文が7.5%（70,502編），「高齢者問題」に関する作文が4.7%（44,117編）となっており，これらの作文で応募総数全体の約7割を占めている。 ※資料2参照
<u>審査経緯</u>	各都道府県単位（北海道については，札幌法務局及び函館，旭川，釧路の各地方方法務局単位）で地方大会を実施し，優秀作品103編が中央大会へ推薦された。
<u>中央大会審査員</u>	作 家（審査員長） 映画監督 一般社団法人日本新聞協会専務理事・事務局長 日本放送協会解説委員 文部科学省初等中等教育局視学官 全国人権擁護委員連合会会長 法務省人権擁護局長
	落 合 恵 子 山 田 洋 次 西 野 文 章 清 永 聡 濱 野 清 内 田 博文 高 嶋 智 光

<u>表 彰</u>	内閣総理大臣賞	(1 編)
	法務大臣賞	(1 編)
	文部科学大臣賞	(1 編)
	世界人権宣言 70 周年記念賞	(1 編)
	法務副大臣賞	(1 編)
	法務大臣政務官賞	(1 編)
	全国人権擁護委員連合会会長賞	(1 編)
	一般社団法人日本新聞協会会長賞	(1 編)
	日本放送協会会長賞	(1 編)
	法務事務次官賞	(3 編)
	法務省人権擁護局長賞	(2 5 編)
	奨励賞	(6 6 編)
	※各賞受賞者には、賞状及び記念品を贈呈	

審査結果 資料 3 のとおり

発 表 平成 30 年 1 1 月 2 8 日 (水)

表 彰 日 平成 30 年 1 2 月 4 日 (月)
受賞者の居住する都道府県の法務局・地方法務局を通じて伝達する予定

そ の 他 法務事務次官賞以上の入賞作品 (1 2 編) については、「第 3 8 回全国中学生人権作文コンテスト入賞作文集」として取りまとめ、平成 3 1 年 2 月頃に刊行の予定